

公園を活かした地域づくりのシンポジウム

～ 大江地区・西江地区 ～

開催日時：平成23年10月16日(日)
午後1時30分～約2時間
(開場・受付開始 午後1時)

入場無料

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター内
パークセンターホール
(岐阜県海津市海津町福江566)

開催目的：大江緑道の整備・運営、アクアワールド水郷パークセンターの改善方策の検討を、住民参加のもとに進める呼びかけと、情報の提供を行います。

～ 水を生かした住民主役のまちづくり・むらづくり ～

講演者 滋賀県立大学 地域づくり教育研究センター 特任准教授・工学博士



森川 稔 氏

専門：都市計画、まちづくり、地域再生

経歴：(財)滋賀総合研究所、(株)アーバンスタディ研究所(代表)、滋賀県立大学人間文化学部准教授を経て現職。

農村まるごと保全推進委員会委員、住宅マスタープラン策定委員会委員、都市再生整備計画策定委員会委員長、まちづくり支援助成金審査会委員長、都市計画マスタープラン策定委員会委員などを歴任

～ 文化的景観の保全・再生：近江八幡市八幡堀、恵那市坂折棚田ほか ～

講演者 大阪府立大学 大学院 生命環境科学研究科 教授・博士(学術)



藤原 宣夫 氏

専門：緑化・環境保全

経歴：国土交通省に20年余勤務し、国土技術政策総合研究所で緑化・環境保全技術の研究開発に取り組む。また、木曾三川公園、淀川阿川公園、みちのく杜の湖半公園等の国営公園の建設に携わる。

みどりの基本計画策定審議会委員、風景づくりアドバイザー、景観審議会委員、風致地区審議会委員、国営木曾三川公園基本計画改定委員会委員などを歴任

～ プ ロ グ ラ ム ～

午後1時00分～：受付

午後1時30分～：開会、あいさつ

午後1時40分～：(仮称)大江緑道に係る概要説明

午後1時50分～：「水を生かした住民主役のまちづくり・むらづくり」/滋賀県立大学 森川稔氏

「文化的景観の保全・再生：近江八幡市八幡堀、恵那市坂折棚田ほか」/大阪府立大学 藤原宣夫氏

午後3時25分～：(仮称)大江緑道事業の検討への参画の呼びかけ

午後3時30分：閉会

主催：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 共催：海津市

～会場へのアクセス～



大江緑道とは・・・

「国営木曾三川公園（仮称）大江緑道」は、アクアワールド水郷パークセンターと隣接し、前川池および大江川沿いに計画を位置づけられており、周辺の水郷景観や水辺に親しむことのできる公園として計画しています。

大江緑道を整備することによって、

- ▶ 自然環境や歴史文化への理解の増進
- ▶ 水辺景観や生物生息・成育空間の保全
- ▶ 地域の活性化
- ▶ 河川空間を活かしたレクリエーションの充実

を実現します。

また、海津市総合開発計画においても、大江緑道が「リバーフロント・レクリエーションゾーン」として位置づけています。

大江緑道などを活かす検討会(ワーキング会議) 開催のお知らせ

今回のシンポジウムも活かして大江緑道などの魅力づくりを進めるために、地元にお住まいのみなさまのご意見をいただく場として、ワーキング会議を開催することにしました。

第1回ワーキング会議は、11月上旬に西江小学校区と大江小学校区にお住まいのみなさまを、主な対象として開催いたします。

開催日時：11月上旬予定

開催場所：未定

※詳しい日時や場所等については、シンポジウムでお知らせするとともに、自治会などを通じて皆さんに連絡いたします。

【会議の年間予定】

- ・H23.10.16 : シンポジウム
- ・H23.11月上旬 : 第1回ワーキング会議
- ・H23.12月上旬 : 第2回ワーキング会議
- ・H24.1月上旬 : 第1回本会議
- ・H24.2月上旬 : 第2回本会議

**開催テーマ：① 大江緑道周辺の輪中の暮らしに係る地域資源の掘り起こし（抽出）
② 大江緑道等の有効活用方策についての意見交換**

※ 地域の昔の写真や、みなさまがお気に入りの景色の写真などを募集しています。アクアワールド水郷パークセンターへ資料提供のご協力をお願いいたします。

※ 11月下旬に地元のみなさまを対象にして、大江川で舟運の社会実験を予定しています。



お問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
〒511-0002 三重県桑名市大字福島 465 ☎0594-24-5719
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

地域づくりネットワーク会議 ニュース

・第1号・

『公園を活かした地域づくりのシンポジウム ～ 大江地区・西江地区 ～』を開催しました！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される（仮称）大江緑道の魅力づくりの事業化方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

10月16日（日）に（仮称）大江緑道の整備・運営、アクアワールド水郷パークセンターの改善方策の検討を、住民参加のもとに進める呼びかけと、情報の提供を行うためのシンポジウムを開催しましたので、その内容をお知らせします。

■ シンポジウムの概要

日 時：平成23年10月16日（日）13:30～15:30
 会 場：アクアワールド水郷パークセンター内パークセンターホール
 参加者：地域にお住まいの方 約60名
 主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
 共 催：海津市



■ 当日のプログラム

- 開 会
- あいさつ
 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 浅野所長
 海津市 松永市長
- 国営木曾三川公園（仮称）大江緑道の概要
- 講演
 「水を生かした住民主役のまちづくり・むらづくり」
 ／滋賀県立大学 森川稔氏
 「文化的景観の保全・再生」／大阪府立大学 藤原宣夫氏
- （仮称）大江緑道事業の検討への参画の呼びかけ
- アンケートの記入
- 閉 会



■ 会議等の予定

- ・H23年11月6日（日）：第1回ワーキング会議
- ・H23年11月20日（日）：大江川水面利用実態調査
- ・H23年12月10日（土）：第2回ワーキング会議
- ・H24年1月上旬：第1回本会議
- ・H24年2月上旬：第2回本会議



■ （仮称）大江緑道の概要

木曾川下流河川事務所から、「（仮称）大江緑道の概要」として、公園基本計画の理念、計画経緯、計画概要等について説明しました。

■ 講演『水を生かした住民主役のまちづくり・むらづくり』 滋賀県立大学 森川稔氏

「まちづくり」ということは、“まちに生活する人達が、自発的に、協働して、まちを快適で楽しく暮らしやすい安全で安心の場にしていくための、身近な環境に対するさまざまな取り組み”であるというお話がありました。

まちづくりの事例として、①兵庫県多可町（あかね坂公園の整備）、②滋賀県甲良町（せせらぎ遊園のまちづくり）、③兵庫県（ため池協議会）の事例の紹介がありました。

また、まちづくりのすすめとして、以下の視点が大切とのことでした。

- ・海津学のすすめ
- ・まちのことを、みんなで考え、みんなで取り組む
- ・新たな人のつながりをつくっていく
- ・地域のために、自らの力（得意技）を発揮し、自分も元気になる
- ・子どもたちにふるさとを残す



まちづくりは、みんなで、試行錯誤

- まずは、顔合わせから ～ざっくばらんに
- 気軽に語り合う ～みんなの参加
- ～まちの点検地回づくり ○×△
- ～○○○協議会
- ～海津学、視察、セミナー
- ～夢をかたちに
- ～実現に向けて一歩ずつ

みんなで、まちづくりに取り組む

- 美しいむらほ、豊かなむら
- まちづくりは「楽しく、軽やかに、じっくりと」
- まちづくりでも、継続はかなり
- まちづくりの目的は、おいしいお酒を飲むこと
～ 汗と酒と涙 ～

■ 講演『文化的景観の保全・再生』 大阪府立大学 藤原宣夫氏

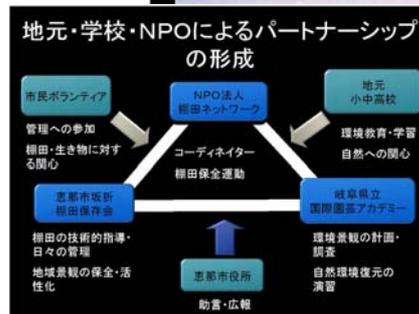
水郷と舟運景観の事例として、「茨城県潮来市 十二橋めぐり」「福岡県柳川市 お堀めぐり」「島根県松江市 堀川遊覧」「富山県富山市 松川遊覧船」「愛知県名古屋市 堀川再生」「岐阜県各務原市 新境川花見舟」の紹介がありました。

水郷景観の保全の事例として、2事例の紹介がありました。

- 佐賀県神埼町 横竹クリーク公園
 - ・美しい農村とクリークの関わりを学ぶため
 - ・くど造りの民家、淡水（アオ）取水
- 滋賀県近江八幡市 八幡堀
 - ・石垣と水と倉と樹木の景観
 - ・散策路を整備堀沿いに憩の小公園を整備、舟路として堀を利用

また、重要文化的景観（文化財保護法）の体系、選定基準等について教えていただきました。

さらに、協働による保全再生活動として、「岐阜県恵那市 坂折棚田」の取り組み事例の紹介がありました。



■ 参加者アンケートの結果

- ・回答者数：38人、男性約7割、女性約3割
- ・シンポジウムの感想は、「興味がある内容だった」が約53%、「話の内容がわかりやすかった」が約36%と肯定的な意見が約9割でした。
- ・今後の検討会への参加については、約半数の方が参加見込みでした。

